

【講演の概要】

◇ヒット商品に学ぶ知財戦略（日本弁理士会近畿支部 弁理士制度普及委員会）

－知財抜きには語れない！あの商品のヒット物語！－

平成18年7月1日 開催

日清食品(株)に『日本が生んだ世界食「インスタントラーメン」』と題してご講演いただき、研究所長、法務部部長や開発担当者などといった異なるお立場の講演者の方々から、各ヒット商品の説明、開発経緯、及び現状の取り組みや課題などをご紹介いただいた。

会場 230名出席



◇インスタントラーメンに学ぶ知財戦略（静岡県知的財産セミナー）

「ヒット商品の舞台裏」

- インスタントラーメンの誕生秘話
- ヒット商品の舞台裏
- 知財戦略 日本から世界市場へ
- 模倣品、不正競争事件など
- 宇宙ラーメンの誕生
- 食品の安心・安全
- 環境を考える

中小企業は新たな産業を創出し、雇用を生み出し、地域経済社会を担う、いわば日本経済の屋台骨を支える存在であり、大企業とも対等に渡り合い、存続・躍進していくために、知的財産の活用が必須であることは、もはや周知の事実です。そこで、これから知財活動を始める企業から、既に積極的に知財活動を行っている企業、中小企業の経営者、研究開発者、知財担当者等を対象に、知的財産制度の普及啓発を図り、知的財産の保護活用を促進することを期待します。

◇鳥取県、日本弁理士会、鳥取県知的所有権センター 2008年10月18日

発明フェス2008；「ヒット商品に学ぶ 知財戦略

～20世紀の大発明 インスタントラーメン誕生秘話～

昭和33年に発売されて以来変わらぬ人気を誇っている「チキンラーメン」やカップヌードルなど20世紀の大発明と言われるインスタントラーメンについて、発明からヒット商品に育て上げていくまでの開発・販売・知財など色々な観点からご講演いただきます。

◇ヒット商品の舞台裏には知財戦略があった！（経済産業調査会 平成23年4月21日）

～日本が生んだ世界食 インスタントラーメン～

企業にとって「ヒット商品」を生み出すことは容易なことではありません。商品の企画・開発とそれを裏側から

支える知財戦略や訴訟戦略、あるいは侵害品や模倣品対策など、多くの難題や苦難を乗り越えていかなければなりません。

そこで、本セミナーでは、インスタントラーメンを世界食にした日清食品ホールディングス株式会社で、知財部門を長年牽引されてこられた加藤参与を講師にお迎えし、即席めん誕生の歴史と「ヒット商品」の舞台裏にあった知財戦略の全てを分かりやすく説明して頂きます。

◇日本が生んだ世界食（鹿屋体育大学 平成24年11月29日）

インスタントラーメン

ーその発展の歴史と知的財産ー

講義概要

- ヒット商品の舞台裏とは？
- 日本の技術が世界の市場へ
- 模倣品と係争の歴史
- ブランドを守る

◇食品企業の新たな未来へ（日本食料新聞社 平成24年9月）

海外進出における知的財産管理

商品や製造を中国やアジアで守るために

～模倣問題に対する日本側がとるべき姿勢～

ここ近年、日本企業の海外志向は非常に強まっています。

国内市場は飽和状態であり、日本以外へのビジネスチャンスを見出そうという動きが見えます。しかし海外に進出する際、商品の質やアイデアで売り込む前に問題となるのが、知的財産権ではないでしょうか。

商品やキャラクター、ブランドネームばかりでなく、現地に工場や生産機能を持たせた場合、製造に関する模倣のリスクも考えられます。特に中国・アジア圏に手を広げる場合、きちんとした法整備をもって自社の製品を守り、また現地の法事情も把握しておく必要があるようです。

海外で知的財産を守るためにはどうしたらよいのでしょうか。

日本食糧新聞では、国際競争力の強化法として“食品の知的財産権”の在り方にスポットをあて、講演いたします。

◇中国・アジアでの商品の創り方・守り方（高岡知的財産グループ(株) 知創研究所）/2009/12/16 開催

近くて大きな市場である中国・東南アジアは、販売市場としてだけでなく、資源が豊富という点でも魅力的である。しかし、この市場は、自社の商品を売るにしても、資源を使うにしても法制度に則るだけでは事業の成功が難しい面がある。

そこで、このセミナーでは、中国・アジアでブランドを守りながら商品を広めるための豊富な経験を持つ講師が、事業成功のための現地でのコトの進め方・戦い方を成功・失敗事例を交え解説する。

◇基調講演 平成24年2月10日

「売れる商品開発の裏側」

～日本が生んだ世界食：インスタントラーメン～

地方独立行政法人青森県産業技術センターフォーラム

◇知的財産セミナー 『インスタントラーメンと知的財産』 平成 23 年 11 月 16 日

龍谷大学瀬田キャンパス（滋賀県大津市）

このセミナーは、知的財産の世界を深く知ってもらうために 2003 年から継続して開催しています。本年度 2 回目の開催となる今回は、日清食品ホールディングス株式会社 管理本部参与／知的財産センターの加藤正樹氏を講師としてお招きし、「インスタントラーメンと知的財産」をテーマに講演いただきます。

20 世紀最大のヒット商品と言われるインスタントラーメンの開発秘話と知的財産について、具体的な事例を交え「ヒット商品」の舞台裏にあった知財戦略についてわかりやすく説明します。

◇中小・ベンチャー企業向け知的財産セミナー

ヒット商品に学ぶ知財戦略 「ヒット商品の舞台裏」

（財）新潟イノベーションセンター事務局（TEL 025-224-0550）

ユニークな技術を創出し、それを製品化し、ヒット商品となるまでは、なかなか容易ではありません。

また、それを支える知的財産戦略は、企業の経営者や技術開発担当者にとって極めて重要であり、具体的な活用手法が模索されています。

本セミナーでは、日清食品株式会社のヒット商品である、インスタントラーメンの開発・成功秘話についてお話しさせていただきます。

◇『日本から世界市場へ ～大ヒット商品に学ぶ知財戦略～』 知的財産戦略セミナー2007

平成 19 年 12 月 5 日（水） 13:30～15:00

テクノアークしまね 4 階 大会議室

（島根県松江市北陵町 1 番地）

一度は誰もが口にすることがある食べ物カップラーメン。開発から 50 年近くが経ち、日本及び世界の食品産業の地位を確立した即席めん、その開発から世界的大ヒットまでには多くの困難がありました。

今回はその即席めんの歴史そのものである日清食品株式会社の法務部部長の加藤正樹氏をお招きし、開発からロングセラーブランドとして確立した企業戦略について知財戦略を含めてご講演いただきます。

- ヒット商品開発の舞台裏
- 日本から世界市場へ ～知財戦略を中心に
- 模倣品、不正競争事件への対応 ～事例を交えて

◇研究テーマ「日清食品のブランドマネジメント」 ブランド戦略研究所

2012 年 7 月度（通算 64 回）定例研究会では、「日本が生んだ世界食 インスタントラーメン」で有名な日清食品のブランド戦略についてお話をいただきました。チキンラーメンやカップヌードル等、ロングセラーブランドの誕生秘話、模倣と係争にみる知的財産上の課題、同社の今後のグローバル戦略等いずれも非常に興味深いものでした。

当研究所初めての試みとして東京および大阪を TV 会議システムで結ぶ同時開催でしたが、おかげさまで会員や入会をご検討中の企業・団体の皆様、ご紹介者などを中心に大阪本会場、東京サブ会場をあわせて 23 名のご出席をいただきました。



「日清食品のブランドマネジメントー日本が生んだ世界食 インスタントラーメンー」

日清食品は、漫然とした総合食品メーカーではなく、各カテゴリーの中で常に NO.1 ブランドを創造育成し、その No.1 ブランドの集合体として形成される「ブランディング・コーポレーション」として、ブランドマネージャー制度にもとづいて数々のヒットブランドを生み出してきたこと、二大ヒットブランドであるチキンラーメンが麺類の概念、カップヌードルが即席麺の概念をいかに変えるものであったのか、新製品開発におけるイノベーションやパラダイムシフトについて具体的に説明いただきました。

同時に、チキンラーメンやカップヌードルの発売後、模倣品の横行（意匠権、商標権の侵害、不正競争防止法違反）に対して日清食品が行ってきた警告・告訴・提訴などに関する詳細なお話しを通じて、知財戦略の重要性が強調されました。

◇中小・ベンチャー企業向け知的財産セミナー

ヒット商品に学ぶ知財戦略 「ヒット商品の舞台裏」

（財）新潟イノベーション・プロモーションセンター事務局（企業にとって「ヒット商品」を生み出すことは容易なことではありません。そこで、本セミナーでは、これから知財活動を始める中小企業から、すでに積極的に知財活動を行っている中小企業の経営者、知財担当者、研究者および自治体関係者等を対象に、インスタントラーメンを世界の食品にした日清食品ホールディングン株式会社で知財部門を長年牽引されて来られた加藤参与を講師にお迎えし「ヒット商品」の舞台裏にあった知財戦略を分かり易く説明していただきます。

◇和歌山県知的財産経営戦略セミナー

平成 19 年 05 月 19 日（木）

アバローム紀の国（和歌山市）

日本が生んだ世界食インスタントラーメン

◇群馬県立産業技術センター 平成 21 年 11 月 19 日 伊勢崎商工会議所 大ホール

インスタントラーメンに学ぶ知財戦略「ヒット商品の舞台裏」

- ・インスタントラーメンの誕生秘話
- ・知財戦略（日本から世界市場へ）
- ・模倣品・不正競争事件 など

◇滋賀地区 発明協会 滋賀県支部 草津市立市民交流プラザ 平成19年6月30日
講演会

テーマ/日本が生んだ世界食 インスタントラーメン

講師/日清食品株式会社 法務部部长 加藤正樹 氏

◇東海大学附属仰星高等学校 平成22年6月16日(木)

高校2・3年生対象「知的財産教育講演会」

テーマ:「日本が生んだ世界食・インスタントラーメン」

株式会社日清食品ホールディングス 管理本部 参与、知的財産センターの加藤正樹氏を講師に迎え、インスタントラーメンに関わるいろいろなお話をして頂きました。チキンラーメン誕生の経緯、創業者「安藤百福」のインスタントラーメン開発への情熱、日清食品オリジナル商品や宇宙食の開発などの内容を、スライドを交えたクイズ形式でわかりやすく説明をしてもらいました。年配教員には懐かしいTVのCF(ピンクレディのUFOとか)も登場し、興味深かったかと思います。高校生にとっては身近なインスタントラーメンですが、ただ食べているだけでは気づかないこともたくさんありました。色々なアイデアを生かした戦略の中には多くの知的財産が取り入れられていたかと思います。カップ麺等の購入時も、選ぶ際に一層楽しくなると思います。特に高校3年生の諸君は、卒業まで1年を切っていますので、卒業後社会で活躍するときの参考になればと思っています。



◇平成22年3月10日

日本弁理士会 近畿支部 ベンチャーサポーターズ勉強会

テーマ: 日本が生んだ世界食インスタントラーメン 開発秘話

◇平成22年9月2日

長野県工業技術総合センター

テーマ: 日本が生んだ世界食インスタントラーメン 歴史から学ぶ知的財産戦略

【その他の講演実績】

◇平成24年7月31日(火)

神奈川科学技術アカデミー教育講座

テーマ: 学生の就職活動向けの業界の話を中心に

◇平成25年5月24日(金)

和歌山県漬物組合連合会

テーマ: 日清食品インスタントラーメン開発から学ぶ 売れ続ける商品の秘密

◇平成25年7月26日(金)

食品ニューテクノロジー研究会 麺類の新展開

テーマ: 日本が生んだ世界食インスタントラーメン その歴史と進化

◇平成25年11月28日(木)

東濃信用金庫主催 東信経済倶楽部 講演会

テーマ：日本が生んだ世界食インスタントラーメン その歴史と進化

◇平成26年1月24日

トライボロジー研究会

テーマ：日本が生んだ世界食インスタントラーメン その歴史から学ぶ知的財産戦略

◇平成26年1月28日(火)

富士通株式会社中国支社主催 富士通ファミリー会 講演会

テーマ：20世紀の大発明 インスタントラーメン誕生秘話

◇平成26年2月14日(金)

栃木県佐野地区雇用協会

テーマ：日本が生んだ世界食インスタントラーメンから学ぶ
売れる商品開発の裏側とブランドマネジメント

◇平成26年7月31日(木)

日本電気株式会社 信用保証協会

NECシステム研究会 講演会

テーマ：20世紀の大発明 インスタントラーメン誕生秘話

◇平成26年11月5日(水)

経済産業局 九州産業局 知財経営塾 in 宮崎

ヒット商品の舞台裏には知財戦略があった！

◇平成26年11月20日(木)

東芝テック株式会社 営業推進部

テーマ：日本が生んだ世界食インスタントラーメン
商品開発と知的財産のかかわり

◇平成26年11月21日(金)

三重大学 特許塾Mip

テーマ：日本が生んだ世界食インスタントラーメン
その歴史から学ぶ知的財産戦略

◇平成27年1月20日(火)

日本商標協会

テーマ：日本が生んだ世界食インスタントラーメンから学ぶ
売れる商品開発の裏側とブランドマネジメント

◇平成27年3月2日～8日

(独)国際文化交流基金 サンパウロ日本文化センター

日伯交流120周年の記念行事で招待。

マウアー・デ・テクノロジー大学 講義

テーマ：インスタントラーメンの講義(商品開発と知的財産戦略)

【会社略歴】

発令年月	会社	部署	期間
2010年03月11日	日清食品ホールディングス株式会社	法務部	2年10ヶ月
2008年10月01日	日清食品ホールディングス株式会社	知的財産部	1年5ヶ月
1997年07月11日	日清食品株式会社	法務部	11年3ヶ月
1989年03月11日	日清食品株式会社	法務課	8年4ヶ月
1988年09月11日	日清食品株式会社	企画室	0年6ヶ月
1983年11月11日	日清食品株式会社	食品開発部	4年10ヶ月
1981年10月11日	日清食品株式会社	総合研究所研究三課	2年1ヶ月
1976年04月01日	日清食品株式会社	総合研究所商品企画課	5年6ヶ月